

## 海面漁業の概要

### 1 漁業経営体数

平成 25 年 11 月 1 日現在における本市の海面漁業の漁業経営体数は 625 経営体で、前回（平成 20 年調査。以下同じ。）に比べ 76 経営体（10.8%）の減となっている。

#### 漁業経営数の推移

（単位：経営体、%）

	昭和 58 年	昭和 63 年	平成 5 年	平成 10 年	平成 15 年	平成 20 年	平成 25 年
経営体数	996	854	761	644	578	701	625
前年対比	3.0	△14.3	△10.9	△15.4	△10.2	21.3	△10.8

### 2 漁業経営体の基本構成

漁業経営体を構成別にみると、個人が 620 経営体となり、全体の 99.2%を占めており、そのうち、専業の割合は 26.6%、前回に比べ 35.2%の減となっている。

また、使用漁船の種類別にみると、船外機漁船が 503 隻となり、全体の 67.7%を占めており、前回に比べ 2.7%の減となっている。

#### 漁業経営体の構成及び使用漁船の種類

（単位：経営体、隻、%）

区 分		平成 20 年	平成 25 年		前年対比	
		経営体数	経営体数	構成比		
漁業経営体	総 数	701	625	100.0	△10.8	
	個 人	小 計	681	620	99.2	△9.0
		専 業	256	166	26.6	△35.2
		兼 業	425	454	72.6	△6.8
	個人以外	20	5	0.8	△75.0	
漁船隻数	区 分	隻数	隻数	構成比	前年対比	
	総 数	861	743	100.0	△13.7	
	無動力船	8	6	0.8	△25.0	
	船外機漁船	517	503	67.7	△2.7	
	動力漁船	336	234	31.5	△30.4	

### 3 漁業種類別経営体数

漁業種類別に経営体をみると、「採貝・採藻」（構成比 42.9%）が最も多く、次いで「その他の漁業」（23.8%）の順で、この2種で全体の約67%を占めている。

主とする漁業種類別経営体数

（単位：経営体、%）

漁業種類	平成20年	平成25年		前年対比
	経営体数	経営体数	構成比	
底びき網	3	1	0.2	△66.7
船びき網	60	57	9.1	△5.0
中小型まき網	1	-	-	-
その他の刺網	20	26	4.2	30.0
小型定置網	60	48	7.7	△20.0
その他の網漁業	5	13	2.1	160.0
その他のはえ縄	19	7	1.1	△63.2
ひき縄釣	9	10	1.6	11.1
その他の釣	13	6	1.0	△53.8
採貝・採藻	295	268	42.9	△9.2
その他の漁業	164	149	23.8	△9.1
その他の魚類養殖	1	-	-	-
かき類養殖	18	13	2.1	△27.8
のり類養殖	33	27	4.3	△18.2